

## 12. 夏そば品種の播種適期の選定

福島県農業試験場会津支場・平成11年春夏作試験成績概要

- 1 部門別 普通畑作物ーソバー作型 02-09-01051867
- 2 担当者 渡部 隆・山田英雄・大谷裕行
- 3 要 旨

夏そば品種を4月下旬から9月上旬まで約10日おきに播種し、播種期を移動した場合の生育ステージの変化、及び生育・収量について検討した。

- (1) 播種から成熟期までの生育日数は、播種日が遅くなるに従って、短くなる傾向が見られた。また、6月15日～7月15日に播種した区では、いずれの品種でも、生育後半になっても開花が続き、成熟期を特定できなかった。9月5日播種区では、いずれも成熟期に至らなかった。
- (2) 生育量及び収量は、5月15日播種区で最大となった後、次第に減少し、7月25日播種区から再び増加し、8月5日播種区で2度目のピークとなった。その後は、播種期が遅くなるに従って、生育量及び収量ともに減少した。
- (3) キタワセソバは、下郷在来(夏)、しなの夏そばと比較して、いずれの播種時期においても、収量が高く推移した。
- (4) 以上のことから、生態型で夏型に分類される夏そば品種は、播種期の幅が比較的広く、4月下旬～6月上旬、7月下旬～8月中旬であれば、播種時期によって収量幅はあるものの、子実生産を目的とした栽培が可能であった。